

騒音・危険・資産価値低下

羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会 ニュース

2024 年 6 月 N0-24 代表世話人 橋 孝 Tel 044-287-7313 ・ 田辺一雄 Tel 044-333-7833

橋本勝雄 E-mail : Katsuo.hashimoto@gmail.com

— 安心・安全な町づくりを —

みなさん、「命が守られ、安全な環境の下で生活できる」地域にすることは、市の責任で行なうことではないでしょうか。急いで「危ない・うるさい」飛行を中止し、4年前までの「海から入って海に出る」ルートに戻させましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「大師地域から提出の 2つの陳情の審査」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(1) 実態調査

『陳情要旨』①地元に足を運び直下の子供たち、保護者のみなさんの声を聞いてください。②その結果を『実態調査』としてまとめ、公表して下さい。

5/24(金) 市議会まちづくり委員会——「不採択」

直接子どもたちの声を聞きとっているか、という質問に教育委員会健康教育課長は「学校の授業は飛行前の午後3時に終わっている。担任をとおして聞きとったが、子どもたちから不安の声は無い。また、大師地区「航空機対策協議会」からも健康に関する意見は無いと答弁しました。また市は、住宅地域の環境基準の Lden (エルデン) 値 57db (デシベル) 以下を満たしていて問題ないと説明しました。しかし、この間の市の説明でも殿町小学校の騒音最大値は91.5db、平均で80dbです。(90db・・・騒がしい工場、パチンコ店内、80db・・・幹線道路路際や



騒がしい街頭) また、国の説明によると Lden は1日の騒音均値を表すもので、南風のき

午後3時から7時の間、轟音を響かせている実態とかけ離れています。井口委員(共)は「子どもたちの学びの場は学校だけでない。子ども文化センターや塾もある。地域での子どもの生活環境全体を考える責任がある。また、本当にLdenで片づけていいのか? 住民の実態に全く寄り添っていないから、何度もこのような陳情が出されるのでないか」ときびしく批判しました。後藤まさみ市議(共)から、次のような声が届きました。「日本共産党以

外の委員は不採択の意思を示しました。当たり前陳情内容なのになぜ? と耳を疑いました。力を合わせて、命、財産、生活を守るために引き続きがんばります」

(2) 事故対策

『陳情要旨』市の責任で以下のことを行って下さい。

①コンビナートで事故が起きた時の「被害想定」をつくってください。②住民・コンビナートで働く人たちの「避難計画」をつくってください。③「被害想定」「避難計画」を説明する「住民説明会」を開いてください。

5/28(火) 市議会総務委員会 ——「継続審査」



後藤まさみ委員(共)は次のように追及しました。(1)被害想定について、市のどの「計画」にコンビナート事故(地震、津波、大規模災害)の被害想定が書かれているのか、と質問。市は「川崎市臨海部防災計画には、最大規模の事故が起きたら川崎市全域と幸区の一部まで①爆風②爆風による飛散物③ファイアーボール(火球)による熱の被害が及ぶ。頑丈な建物への屋内避難(27万人)が必要」、と答弁。後藤委員は、航空機事故は大規模災害なのだから、急いで被害想定を作るように、迫りました。(2)避難計画について、航空機事故の場合のハザードマップを作る必要があるのではないかと、という質問に、「作成の手引きが国から示されていない」と答弁。(3)住民説明会について、市として国に要望しているのか、という質問に、市は「要望していない」と答弁。嶋崎委員(自)「1月2日の羽田航空機事故のとき、大田区・品川区などはリアルタイムで住民に情報を出している。日頃から準備をしている。ところが市は1ヶ月も遅れている。なぜこんなに違うのか」と追及。

宗田委員(共)は「コンビナート上空を飛ぶのは世界の常識に反している。危機感が全くない。市と住民の認識が決定的にズレている」と追及。質疑をとおして、市当局はコンビナート事故の危険性を隠し通せず、まともな答弁もできず、全員一致で「継続して審査していく」ことになりました。



「公害・環境、健康、 第29回 まちづくりフェスタ」



5月19日、「川崎区民の会」は、JR溝の口駅前ペDESTリアンデッキで「第29回公害・環境・健康まちづくりフェスタ」に参加しました。「きれいな空気と生きる権利」を求め、1982年に川崎公害裁判が起き、被害者勝利の和解を勝ち取りました。それを出発点として、公害の根絶、さらには環境再生とまちづくりの取り組みがねばり強く続いています。その一環として、「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」行われています。今年は市政に市民の声を届けようと、30を超える市民団体が参加しました。



市役所前宣伝

5月31日、第2回川崎市議会開催日に合わせて、「いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会」主催による市民要求実現アクション昼休み宣伝行動が川崎市役所前で行われました。羽田増便による低空飛行ルートに反対する「川崎区民の会」から4名が参加しました。



.....署名のお願い.....

安全な環境の下で生活できる地域にするため羽田新飛行ルートの見直しを川崎市に対する陳情署名を実施しております。ご協力をお願いします。用紙の必要な方は代表世話人宛ご連絡願います。



川崎駅前宣伝



6月8日、「川崎区民の会」は、JR川崎駅前前で12名の参加者で宣伝・署名活動を行いました。新しく作った横断幕にゆっくりと目を通して、私達との対話をとおして署名に応じて頂いたり、激励をして下さる通行人の方々に、勇気を頂きました。



ホームページを開設



Webで 羽田増便による低空飛行ルートに反対する「川崎区民の会」で検索又はURL + <https://flight-route.com> と入力してください。



《 7・8月行動計画 》

☆ JR川崎駅東口宣伝

7月20日(土) 14時～15時

8月10日(土) 14時～15時

☆ 拡大世話人会(プラザ田島実習室)

7月26日(金) 15時～16:30

8月23日(金) 15時～16:30

☆ シマホ 前宣伝

7月11日(木) 15時～16時

☆ イトーヨーカドー 前宣伝

8月11日(日) 15時～16時

☆ 京浜急行川崎大師駅前

7月27日(土) 14時～15時

8月24日(土) 14時～15時